

第一日 9月3日 (月)

午 前 の 部

***** 特 別 講 演 *****

- 10:00~11:00 集団と組織における指導性機能測定のための概念提示とその妥当性について：三隅二不二(九大・文) (2)
- 行動科学における topological model “Graph Theory” とその有用性：狩野素朗(九大・文) (3)
- 11:00~12:00 カタストロフィー理論について：野口広(早大・理工) (4)

午 後 の 部

13:00~14:00 総 会

14:00~17:30 パネルディスカッション

座長 林知己夫 (統計数理研究所)

題目 「人間研究と行動計量学」

発言者 (発言順)

研究対象としての個体・集団

数理心理学の立場から： 印 東 太 郎 (慶 大・文, 数理心理学) (8)

言語の面から： 野 元 菊 雄 (国立国語研, 計量言語学) (10)

政治学と行動計量学： 武者小路公秀 (上 智 大, 国際政治学) (12)

人間行動の偶然性と確率モデル： 竹 内 啓 (東 大・経, 数理統計学) (14)

健康事象の計量学： 山 本 俊 一 (東 大・医, 疫 学) (16)

人間システム分析への道： 大 島 正 光 (東 大・医, 医用電子工学) (18)

認識論の立場からみた人間主観の

自由性： 飯 島 泰 蔵 (東工大・工, 電 気 工 学) (20)

第二日 9月4日 (火)

午 前 の 部

一般テーマ (理論関係)

- 座長 青山博次郎(統計数理研究所) 佐藤創(上智大・理工)
- (A 1) 9:00~ 9:15 直交因子回転における残差絶対和最小化基準：
○石塚智一・柏木繁男(国鉄鉄道労働科学研究所) (24)
- (A 2) 9:15~ 9:30 因子分析における各種技法の一般化について：柳井晴夫(東大 医・疫学) (26)
- (A 3) 9:30~ 9:50 異なる集団の因子の同定について：
○児玉寛典・後藤昌司(塩野義製薬解析センター) 浅野長一郎(九大理・基礎情報学施設) (28)
- (A 4) 9:50~10:05 潜在クラス分析におけるGreen解の改善：生沢雅夫(大阪市大・心理) (30)
- (A 5) 10:05~10:20 比較判断の法則 CaseIIIの最小自乗解：村上隆(東教大・教育心理) (32)
- (A 6) 10:20~10:40 共変動分析法の原理と実例：○戸田正直, 篠塚寛美(北大・心理) (34)
- (A 7) 10:40~11:00 サブグループ推定理論：パネルデータから母集団内のサブグループを推定する方法：海野道郎(東工大・工・社会工学) (36)
- (A 8) 11:00~11:15 多次元尺度構成(MDA)について：林知己夫(統計数理研究所) (40)
- 11:15~12:00 討 論

午 後 の 部

共通テーマ (パターン認識関係)

- 座長 飯島泰蔵(東工大・工) 丸山久美子(青山学院大・文)
- (B 1) 13:00~13:20 学習問題の幾何学的アプローチ：小川英光(東工大・工, 電気) (42)
- (B 2) 13:20~13:40 浮遊円板法 Karhunen-Loeve展開の動的解法：磯道義典(電総研・オートマトン研) (44)
- (B 3) 13:40~14:00 自己組織化の方式について：永野俊(電総研・オートマトン研) (48)
- (B 4) 14:00~14:20 筆圧曲線の類型化の試み——パターン解析——：山下富美代(立正大) (50)
- (B 5) 14:20~14:40 視覚誘発脳波中の潜在色覚応答の推定：○納谷嘉信 山中俊夫 側垣博明(電総研・大阪支所) (52)
- 14:40~14:55 休 憩
- (B 6) 14:55~15:15 視覚走査の一形体(scanning in vision)：西川泰夫(上智大・文, 心理) (54)
- (B 7) 15:15~15:30 音声認識の多変量解析 : 田畑孝一(京大・工) (56)
- (B 8) 15:30~15:45 印象の多次元構造について : 千野直仁(愛知学院大・文) (58)
- (B 9) 15:45~16:00 意味空間モデルによる日本語文章の生成：
西村恕彦(電総研・数理基礎研) (62)
- 16:00~17:00 討 論

第三日 9月5日 (水)

午 前 の 部

共通テーマ(法律・政治・経済関係)

座長 宮原守男(虎ノ門法律事務所) 岩田暁一(慶大・商)

- (C1) 9:00~9:20 年金財政の確率的健全性:松本浩太郎(千葉商大) (64)
- (C2) 9:20~9:35 法の機能の概念について :小室直樹 (66)
- (C3) 9:35~9:50 累非行予測と非行の測定 :館沢徳弘(千葉家裁) (68)
- (C4) 9:50~10:05 損害賠償に対する人々の意識 :松村良之(司法研修所) (72)
- (C5) 10:05~11:20 日本における市民意識析出のパターン:広瀬弘忠(東大・新聞研) (74)
- (C6) 10:20~10:40 政治意識における中央と地方 :三宅一郎(京大・人文科学研) (76)
- (C7) 10:40~10:55 相互関係の強さと歪みの計量化 :城信雄(慶大大学院)○吉井博
明(未来工学研)山影進(東大大学院) (78)
- (C8) 10:55~11:15 マン・コンピューター・シミュレーションデータ分析の汎用プログラム
関寛治 ○山本芙蓉(東洋文化研) (80)
- 11:15~12:00 討 論

午 後 の 部

一般テーマ(医学関係)

座長 奥野忠一(農業技術研究所) 宮原英夫(東大・医)

- (D1) 13:00~13:20 マルコフ過程による心疾患の予後の解析:古川俊之・井上通敏
榊原博・北畠顕○堀正二(阪大・医・第一内科)梶谷文彦(阪大・工, 制御電子) (82)
- (D2) 13:20~13:35 AMDCOX法による心容積の計測について:○早川弘一・山口巖・
山本亀代治・黒川顕・木村栄一(日医大・第一内科)林知己夫
(統計数理研究所) (86)
- (D3) 13:35~13:50 多変量解析法による脳血管性障害 殊に脳血栓症発症予測:
○広田安夫(九州歯科大・内科)浅野長一郎(九大 理) (88)
- (D4) 13:50~14:05 産科領域におけるミニコンピューター診断システム:久保武士(東大
・医, 産婦人科)群司寿子(東大・医・情報処理室) (90)
- (D5) 14:05~14:20 疲労自覚症状調査と身体疲労部位調査との対応について:
○岸田孝弥(労働科学研究所)大隅昇(統計数理研究所) (92)
- (D6) 14:20~14:35 精神分裂病と帰環増幅器の比較による考察:
高瀬守一郎(山梨県立北病院) (94)
- 14:35~14:50 休 憩
- (D7) 14:50~15:10 確率モデルを用いた触管理計画とその評価:○郡司篤晃(東京女子
医科大)花村和夫(花村歯科医院)小泉明(東大・医) (96)
- (D8) 15:10~15:25 患者の受療行動と施設設備に関する研究:佐久間桂子・根岸龍雄
(病院管理研, 東大・医, 成人保健) (98)
- (D9) 15:25~15:40 疾病制御に対するシステム工学的アプローチ——現象と問題点——:
柳川洋(国立公衆衛生院疫学部)○福富和夫
(国立公衆衛生院衛生統計部) (100)
- 15:40~17:00 討 論

第四日 9月6日 (木)

午 前 の 部

共通テーマ (評価関係)

- 座長 生沢雅夫 (大阪市立大・文) 岩坪秀一 (電子技術総合研究所)
- (E1) 9:00~9:15 運動能力評価に対する数量化の試み:長谷川浩一・丸山久美子(青学大)(102)
- (E2) 9:15~9:35 行動分析に基づく自動車運転教習計画:桜田一之(東工大・工, 社会工学) (104)
- (E3) 9:35~9:50 MDPREFによる労働価値感の分類:岡太彬訓 (立教大・社会) (108)
- 丹波明 (慶大・工)
- (E4) 9:50~10:10 人間評価の社会学—“人間評価の計量化”序説として
園直樹 (京都府立大) (110)
- (E5) 10:10~10:25 UPI (University Personality Index) による大学生留年傾向の予測:井上通敏 辻本太郎, 白石純三 (阪大・保健管理センター) (114)
- (E6) 10:25~10:40 S-P表 (スケイログラム) の教育評価への応用:
藤田広一・永岡慶三 (慶大・工) ○佐藤隆博・竹谷誠 (日本電気) (116)
- (E7) 10:40~11:00 客観テスト設計における二, 三の問題について:池田央(立教大・社会) (118)
- (E8) 11:00~11:15 学力進歩の予診, そのための着眼点の計量化:久保舜一 (工学院大) (120)
- 11:15~12:00 討 論

午 後 の 部

共通テーマ (エコロジー関係)

- 座長 安田三郎 (東大・文) 井上通敏 (阪大・医)
- (F1) 13:00~13:15 喫煙と肺癌ならびに心疾患死亡をめぐる生態学的パターンの数量的研究:根岸龍雄, 内藤雅子 (東大・医, 成人保健) (124)
- (F2) 13:15~13:30 生体における物質の数量的行動の解析のためのコンパートメンタル・アナリシス:松原純子・町田和彦 (東大・医, 疫学) (126)
- (F3) 13:30~13:45 生活行動のシミュレーション:大平智弘 (製品科学研) (128)
- (F4) 13:45~14:00 地域集団の食物消費構造分析についての検討とメチル水銀の人体への取り込み量の推定:豊川裕之 (東大・医, 疫学) (130)
- (F5) 14:00~14:15 地域を対象とした医療の数学モデル作成の試み:
○開原成充 (東大・医) 川村昇 (東京都老人総合研究所) (132)
- (F6) 14:15~14:30 伊勢湾周辺地域の流出口(通勤・通学):林茂(国鉄・岐阜工事局調査課) (134)
- 14:30~14:45 休 憩
- (F7) 14:45~15:00 河川・用水の水質汚濁と都市化との関係について:
○広崎昭太 (農業技術研究所) 諏訪隆之 (埼玉県農業試験所) (136)
- (F8) 15:00~15:20 地域生活空間の指標化:高森寛・森平爽一郎 (青学大・経済) (138)
- (F9) 15:20~15:40 観光地特性数量化の一考察:三觜武 (鉄道技研・電子計算センター) (142)
- (F10) 15:40~16:00 航空機騒音の数量化:林知己夫 (統計数理研究所) (144)
- 16:00~17:00 討 論